



同窓会では、現役生を支援するため、今年度も多くの部活動に激励金をお渡ししました。後輩たちの努力が実を結び、この夏は過去最多となる生徒たちが全国大会へ出場しました。運動部だけでなく、自然科学部や文芸部といった文化部も目まぐるしい活躍を見せてくれています。

特に陸上部では、今年も素晴らしいニュースが届きました。高校2年生の荒谷君が広島インターハイ男子100mで、広島県高校新記録となる10秒29で4位入賞という快挙を達成。この活躍は多くのメディアに取り上げられ、本校陸上部OGの中西敦子アナウンサーが取材に訪れるという、現役生と卒業生の共演も実現しました。この快挙を支える練習環境を少しでも良くしたいという思いから、同窓会は陸上用短距離練習マット（下写真）の購入を支援させていただきました。

進学校のイメージが強い本校ですが、後輩たちは「文武両道」を掲げ、学業と課外活動の両方で日々躍進しています。今後も、後輩たちの頑張りを同窓会も一丸となって温かく応援していきましょう。

文武両道の後輩たちにエール！ 同窓会から全国大会出場者へ支援



名誉会長より



名誉会長(校長) | 橋本 晃一

同窓生のみなさん、こんにちは。校長の橋本です。令和7年度は、中学校、高校合わせて364名を新たに迎え、学校全体としては、中学校396名、高校716名の計1112名でスタートしました。少子化の波が押し寄せている昨今、こうして本校が

ますます発展しているのも、同窓生のみなさんが社会に出てからも、本校を応援して下さいのおかげです。本当に有難うございます！

私も校長に就任し7年目になります。引き続き“Aim for a Higher Level!”をモットーに、様々な工夫を重ねながら本校を盛り上げてまいります。また今年は近畿大学が創設されて100年のメモリアル・イヤーです。本校もさらに高いレベルを目指していこうと考えていますので、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

さて今年も5月1日は近校祭・体育祭【テーマ：葉(しおり)～読み返したい青春を～】を実施し、中高全体を赤・青の2団に分けて競い合いました。6月にはクラス別のオリジナルTシャツを作ってクラスマッチを行い、クラスや学年での親交を深めることが出来ました。9月27・28日には近校祭・文化祭を行います。文化部の発表、模擬店やステージとともに、PTAや同窓会(OB・OG)の方々にもバザーや模擬店にご協力いただいています。地域の

方々とコラボしてのキッチンカーも、もうおなじみになってきましたね。

クラブ活動でも陸上競技部、剣道部、サッカー部、ソフトボール部、自然科学部そしてダンス部など多くの実績をあげています。特に今年は広島県内でもインターハイが行われ、個人で参加をしてくれた空手や相撲、水泳を含め、たいへん盛り上がりを見せてくれました。活躍を続ける本校の部活動に、どうか温かいご声援をよろしくお願いいたします。

学校のトピックとしては、今年から夏服にポロシャツを導入しました！中学校はブルーとピンク、高校生はホワイトとネイビーで男女の区別はありません。また裾をアウトに出来るようにしていますので、暑い夏を快適に乗り切ってもらえるようなデザインしました。校内がカラフルになっています。

また日ごろから会長様をはじめ、同窓会員のみなさんにはたくさんのご支援をいただき、本当に感謝しています。今後もみなさんが、本校の卒業生として誇りを持って

もらえるように、地元にも密着した活気ある楽しい学校づくりを目指していきます。同窓会員のみなさんも遠慮なく本校に足を運び、母校の発展していく姿を見てください。次年度は30周年を迎える「近大東広島」を、引き続きどうぞよろしくお願いたします！



同窓会会長より



同窓会会長

西廻 知史 5期生(H15卒)

2025年大阪・関西万博が開幕し、世界中から人や知恵が集まっています。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。最先端の技術や文化が交差し、未来を語る大舞台に胸が高鳴ります。私たちの暮らすこの日本から、平和で持続可能な未来へのメッセージが世界へと発信されていくことでしょう。

一方で、日々の生活を見渡せば、物価の高騰や不安定な世界情勢が、私たちの心に小さな不安を忍び込ませています。海外で暮らすことが、距離を越えてすぐに私たちの暮らしに影響する時代。便利さと同時に、世界がかつてないほど近くなった証でもあります。そして今年、広島・長崎への原爆投下から

八十年という節目の年です。あの日を知る人が少なくなる中で、戦争の悲惨さ、平和の尊さをどう次の世代に伝えていくかが、私たち一人ひとりに問われています。平和は遠くの誰かが守ってくれるものではなく、私たちの願いと行動で育まれていくものだ、改めて心に刻みたいと思います。「私達が生きている今、それは誰かが命懸けで守ろうとした未来」この言葉は、「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」の映画の中の言葉です。今、皆さまも、私も、誰かが命懸けで守ろうとしてくれた未来を生きています。

本同窓会においても、まだ見ぬ未来の同窓生のために、いつ来ても安心でき、共感し合い、

あの日と変わらぬ笑顔で互いの近況を語り合い、励まし合える場所があり、そこには肩書も立場もなく、ただ「同じ時代を共に過ごした仲間」としての温かなつながりがあります。同窓会は、時代の荒波を超えてきた同窓生に、再会の時間という小さな勇気と大きな安心をくれる場所であり続けていく事が使命であり、責務だと思います。変わらない笑顔に会い、仲間と共有することが、これから生きる力になります。

八十年前に願われた「平和な明日」を、今を生きる私たちが次の世代に手渡していく。その想いを胸に、また笑顔で集える日を楽しみにしています。

近校祭に出店しました!

毎年恒例! 近校祭文化祭にて、令和6年も同窓会の模擬店を出店しました。

コロナ禍で文化祭の規模が小さくなり、模擬店が行えない時期もありましたが、今では以前の賑わいを取り戻すどころか、より活気にあふれて、中庭にはたくさんのお客さんが! 最近では近校出身の保護者も増え、文化祭にはたくさんの

卒業生が遊びに来てくれました。

令和5年に引き続き、もみじコーヒーさん(代表: 内海 良介 5期生 H15 卒)に出店いただき、また、こちらも長くお世話になっている hana cafe さんのパンもあつという間に完売。大盛況で、ジュースも早い時間帯に完売となりました。目まぐるしくお客さんが来る中で、休まず働き続けてくれたOB・OGの皆さんに感謝です。

また令和7年の秋にも文化祭が行われますので、お手伝いに来ていただける方を募集しております。顔を見せてもらえるだけでも結構ですので、是非皆さんご参加ください。



教育実習を終えて

手島 宥人 24期生(R4 卒)

<写真上段中央>

私は近校に中学から6年間お世話になりました。卒業生として母校に戻ってきて「懐かしさ」を感じると同時に、実習生として教壇に立つことで「新鮮さ」も覚える毎日でした。

拙い授業にもかかわらず、生徒たちは真剣に耳を傾け、沢山質問や話にきてくれました。本当に素直で前向きな生徒たちばかりでした。授業やHRに加え、

球技大会に参加させて頂き、教室とはまた違う生徒たちの表情や姿に立ち会うことができました。負けても「さあ次!」と前を向く姿には、頼もしさを感じました。こうした感動は教員として関わるからこそ味わえるものだと思います。大学生の私にとっては、どれもかけがえのない「新鮮」な経験でした。

たった3週間の実習でしたが、生徒の成長に寄り添い、社会に送り出す「教員という仕事」、ひいては教育そのものの素晴らしさを改めて実感しました。校長先生をはじめ、先生方には授業中の視線の配り方から将来についてまで、数多くの貴重なアドバイスを頂きました。先生方のような教育者に少しでも近づけるよう、今後も努力を重ねてまいります。



生まれ育った広島で映画を製作するということ

本校6期生の水野上雄一さんが、広島を舞台とする映画のプロデューサーをつとめ、その作品が公開となり、地元広島でも上映されました。この度、ご本人からメッセージをいただきました!

呉市生まれ、小2で高美が丘に引っ越し、高校まで西高屋で育った私。長く勤めた広告会社を脱サラして広告屋として独立、オール広島ロケの映画にプロデューサーとして携わせて頂きました。

社会に出て広告屋としてせわしなく仕事をする中で生きづらさや悩みを抱きながらも、好きなことが仕事になったり、家族ができたり、人生捨てたもんじゃないと思うことがまありました。

“死ぬまでにいつか映画をつくりたい”というのが夢の一つでしたが、広島で青春のほとんどを過ごした私にとって、広島で映画をつくりたいと思ったのは自然な心の動きでした。

映画は多岐にわたる専門分野のプロが協力して作り上げる、時に困難な共同作業ですが、この作品が多くの人の人生を肯定するものになればと思っています。映画「シケモクとクズと花火と」をぜひ観てください!



シケモクとクズと花火と
公式サイト
<https://www.shikemoku-movie.com/>

水野上 雄一
6期生(H16 卒)



第9回 同窓会総会・懇親会 2026年(令和8年)12月下旬 開催予定

同窓会員の皆様、お待たせいたしました! 前回2023年の総会・懇親会では、タレントとして活躍のさいねい龍二さん(2期生)や、テレビ新広島アナウンサーの中西敦子さん(17期生)がご参加くださり、会場は大いに盛り上がりました。参加者約100名が集い、懐かしい思い出話に花が

咲き、クイズ大会や大抽選会も大盛況でした。今回は、3年ぶりの開催となります。日程が決定次第、同窓会 SNS 等でご案内させていただきます。恩師の先生方にも多数ご出席いただく予定です。旧交を温め、新たな繋がりを築く貴重な機会ですので、皆様のご参加を心よりお待ちしております!



母校よりお知らせ

教員募集

教員免許をお持ちの同窓生の皆さん、母校で教員をしてみませんか。常勤採用、非常勤採用(出講日、コマ数相談可)と多様な働き方がありますので、随時お問い合わせください。

担当: 教頭 梶森、竹内
電話: 082-434-7111 (代表)

